

白州だより

ソニータク 付度ナシ
かえ
初夏対談「還るべき日本とは、いつの時代のどんな日本？」

白州郷牧場
代 表

椎名 盛男

白州郷牧場
加 工 所

見田 由布子

間 き 手

井上 忠彦

新 5 号
第 号
2018 年 7 月
二十四節気
「大暑」

椎名 5月にあったイギリス王室のヘンリー王子の結婚式をテレビで観てね、いろいろ考えたんだけど……伝統っていうのは小さな何かをつくって、それを続けていくことで伝統になるんだな、って。別に新しい概念を発見するとか考え出す必要はないんだな

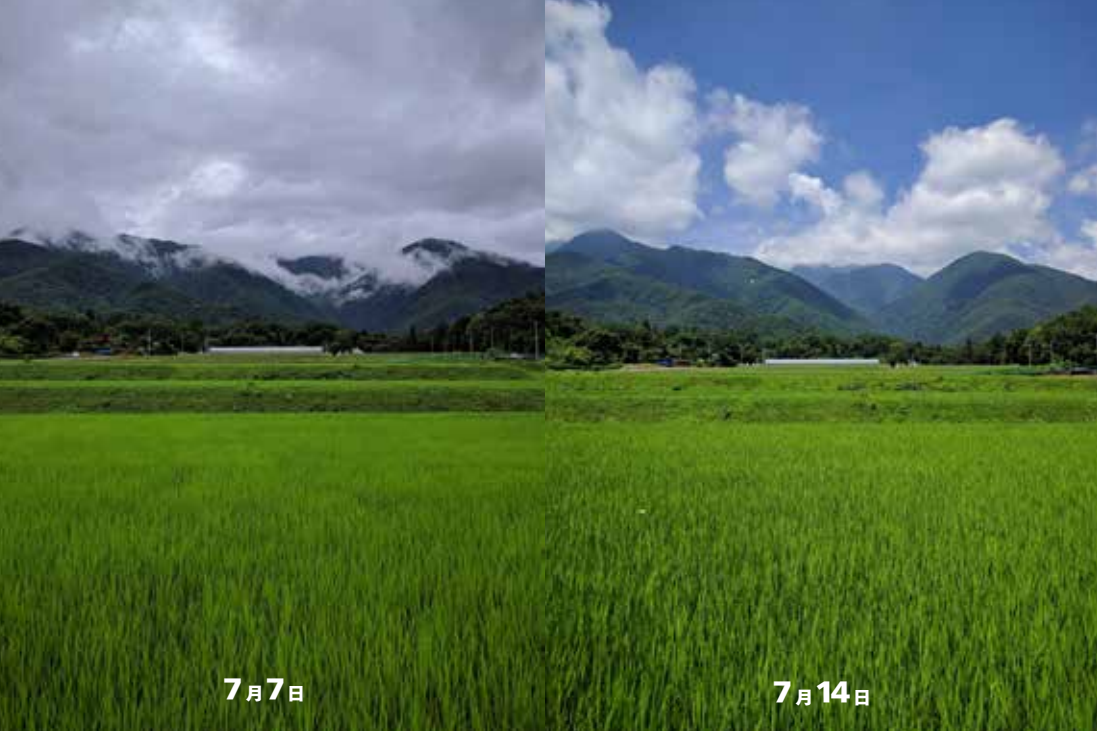
と思ったの。たまたま観た「小さな村の物語 イタリア」というテレビ番組では、おばあさんたちが本当に何でもないことを毎日やっているんだけど、それが美しい伝統になっていた。伝統として続いていくものっていうのは、新しい確固とした概念を先に作ら

なくてもいいんだなと思って気が楽になった。
俺も見田さんも、あるいは戦後以降の日本人のほとんども「伝統」が息づいていないんだよ。少なくともヨーロッパの古い小さな村でおばあさんたちが暮らしている生活のように伝統が息

づいていないと思う。伝統っていうのもひとつひとは本^{きさい}に些細でありふれたことだよ。何かの記念日に伝統的な食べ物をつくってお祈りして食べるとかね。伝統が生きていないというのは、日本全体なのかな。伝統が血肉化していない。
見田 日本にも伝統はあったと思いますよ。でも庶民の伝統は昭和の敗戦でほとんど切れちゃったんじゃないですか。
私事ですが、台湾からの引き揚げ者の父と東京からの疎開者の母から生まれた私はあまり伝統に縁が無い気がする。甲野善紀さん①の本を読むと、昔の人は今とは身体の使い方からして違っていたようです。
椎名 中国では唐の時代の前から椅子で生活していたけど……
見田 日本は椅子の生活をはじめて、まだたつた150年くらいでしょう。庶民レベルではもともと短くて50年くらいかもしれない。身体の使い方ってそういうところから変わっていくのですよ。
椎名 ヘンリー王子の結婚式をみてね、王室ってなにか贅沢をして優雅に生きてるとか、そういうんじゃないなあと思ったの。ヨーロッパの王様っていうのは、昔からみんな商売をしてちゃんと稼いでいるでしょ。それにイギリスって戦争になったらまず王室から最初に戦線に赴くでしょう。
見田 ノブレス・オブリージ②。そういうえば、アメリカで映画監督のマイケル・ムーア③が議員たちを追つかけて「あなたの息子はイラク戦争に行っているか？」と聞いてまわっていたけど、子供が戦線に赴任している議員は誰

もみつからなかったんだよね。
椎名 ヨーロッパの貴族は自分の庭園でとれた野菜を選任の画家に描かせたりしていたし、ヘンリー王子の結婚式のときのブーケも、王室の庭園の花をヘンリー王子が摘んでつくったそうだよ。王宮って庭園からはじまって、もう全部あるんだよね。そういうなかで、王室のようなエスタブリッシュメントたちには「今日は何の日」っていう血肉化した伝統がある。
白州郷牧場も、たとえば入植記念日をお祝いして食事を会を持つ、とかした方がいいのかもね。
見田 白州の入植記念日っていつなの？
椎名 3月26日。
見田 何にもない時期ですね。
椎名 この前亡くなった西部邁さん④は保守の人で北海道出身だったけど「守るべき伝統が北海道の原野のどこにあるんだ」と周囲から笑われたことがあるらしい。西部さんも新しい概念を考え出すことにこだわらなければよかったんじゃないかな。新しい概念をつくらうとしていたけど、つくりきれなかった。
井上 アメリカやヨーロッパも日本も、世界的な潮流として保守化・保護主義化しているというの、なにか伝統的なものを求めているといえるのではないでしょう。でも帰るべき、還るべき伝統の社会がみつからないのか、よくわからない。いったいどこに戻つたらいいの？という感じがします。
椎名 日本でいえば、戦前や明治時代が還るべき場所なのか、

それともつと遡って江戸まで行くのか。料理ひとつとってもそうでしょ。池波正太郎の小説に登場する料理が週刊誌のグラビアで紹介されたりするけど、裏返せば今に生きていない。伝統というものに憧れとコンプレックスをもっている。歴史的な時間軸の中で自分はいったいどういう存在かという問いがほしいのか。空間的に世界は広がりが尽きたから。
見田 日本の伝統だと思われる初詣は明治からだし、おせち料理なんか戦後にできたものだね。日本の伝統文化って思われている多くのものは戦後か、せいぜい明治頃に生まれた文化。それに日本って下層から上がってきて定着した文化ってほとんどないんじゃない？
椎名 そうね、雛祭りのお雛様なんかも上流から降りてきた文化だよ。
見田 いまでも新しく記念日をつくってるでしょ。経済効果を期待して金儲けに結びつけて。拝金主義こそ問題にすべきじゃないのかな。「消費生活」の中に「伝統」が生きている。
とにかく若い人は体を動かし方がいいよ。やる前からお金のことばかり考えていないで。養老孟司さんが、現代は言葉だけの世界になっているって。情報だけ論理だけの人工的で肉体的性の失われた世界。だから本当はこんなことを話していないで、畑に行つて雑草でも抜いてた方がいいのかもしれないね。
椎名 それはいえるんじゃない。
井上 自民党は以前の選挙のポスターに「日本を取り戻す！」

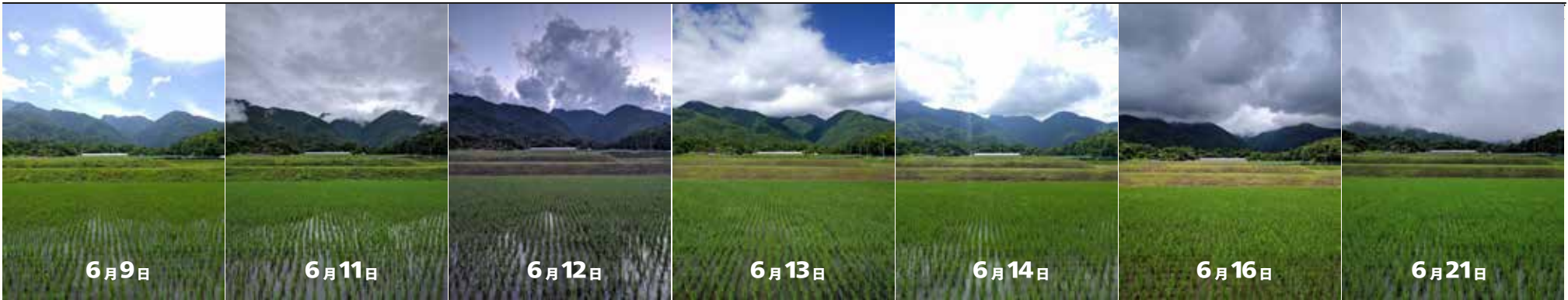


7月7日

7月14日

と掲げました。でもその「取り戻す」べき日本って、いったいいつ頃のどんな日本なんでしょう。高度成長期？昭和初期？安倍晋三総理も第一次内閣のときから「美しい国づくり⑤」を提唱しましたね。でも、美しい国ってどんな日本なんだろう？
①甲野善紀―武術を主とした身体技法の研究者。古武術に関する著書が多数。
②ノブレス・オブリージ―「高貴さは義務を強制する」を意味し、特権、財産、社会的地位などの保持には責任が伴うことを指す。
③マイケル・ムーア―米国のジャーナリスト、ドキュメンタリー映画監督。

椎名 たとえば、司馬遼太郎が小説に書いたような、「坂の上の雲」を目指していた明治期の日本ではないような気がするね。取り戻すべき日本とか伝統っていうのが曖昧なまま、「美しい日本」に還ろうといわれても無理じゃないか。
④西部邁―日本の保守派の評論家、経済学者。全学連の中央執行委員を務め60年安保闘争に参加したが後に、左翼過激派と訣別。80年代から大衆社会批判を主軸とした保守論者として活動。
⑤美しい国づくり―「活力とチャンスと優しさに満ちあふれ、自律の精神を大事にする、世界に開かれた『美しい国、日本』と定義された安倍内閣の国家像。



「待てば海路の日和はあるか」

白州郷牧場代表 椎名盛男

2004年7月の白州は熱波に近い日々が続いています。どうやら我々は山岳民族になつたらしく暑さにとても弱いようです。3時すぎまで研修生たちは尾白川へ泳ぎにいき、私は昼寝といった状態で、そういう暮らしの中に農業が紛れ込んでいるような毎日です。

新聞を読んでいたら国民所得の分配比の記事が載っていました。それによれば25%の世帯に75%の所得が集中しているとのことでした。昭和の時代には考えられない記事です。こんな記事が載るようでは社会主義日本の解体も総仕上げの段階にきたのでしょうか。別な言い方をすれば国民が階級として再編されるのも間近なのではないでしょうか。

たしかにグローバリゼーションは資本の動きを自由にし、そして巨大化させます。一方、労働力商品は果てしない競争を強いられ賃金は限界の見えない低下を引き起こしていきます。働く人々は順番のわからないまま貧困の井戸に突き落とされます。企業の収益は増加し賃金は減少します。学者は口を閉ざしていますが、このことは結果として総需要を低下させ経済を縮小させるはずで。しかし、その日が来るまでこの矛盾（病魔）を持つまま進行するしかないのでしょうか。

資本主義はマックス・ウェバー

の言う「資本主義の精神」からますます遠ざかり、国家、社会から遊離し、略奪資本主義化しています。歴史に照らすなら「資本主義の精神なき社会主義」に挑戦したスターリンのソ連が崩壊したのはそう遠い過去ではありません。

だから、精神を失ったこの資本主義は早晚メッセージを受け取ることになると私は思っています。

白州の寒村から世界を見ている私の目に、このグローバリズムは「国民」という概念を溶かし始めているように映るのです。基層民としての国民が溶解していつているようにみえます。それが他の人には進歩や進化に見えるのかもしれませんが。しかし、今度は多様な言語や文化をも絶滅に追いやることになるのではないのかと……。

このことは結果として国家をも溶解させるでしょうし、為政者の権威も奪い彼らを無力感に落とし込むことになるでしょう。ひょっとしたらフランス革命ゆかりの「国民国家」の時代が終わるのかもしれない。そんな予感に包まれながら白州の村道を歩いています。

しかし、国家が解体しても人々の生活はつづき、民族は存在します。ソ連邦の解体が教えてくれたことです。

それにしても働く人々に未来はあるのか。

待てば海路の日和はあるのか。
(2004年7月の白州だよりから)

井上 椎名さんが2004年に書いた、**グローバリズム⑥**についての文章があるんですけど（上記事参照）。14年前に懸念していたことが今そのまま現実になっちゃっているわけですね。

椎名 政治が変わらないからかな。財界、官僚、政治家のトライアングルで結託して社会を動かす構造が変わらないから。

見田 2004年頃は、まだ幻想があつたんだよね。「私たち白州郷牧場にとってはグローバリズムなんか知ったことじゃない。そんなことおこまいなしに、農村で自給して生きていくんだ」っていう。でも東日本大震災の福島原発事故でそれは打ち砕かれた。

ああ、否応なしに世界は繋がっているんだ、否応なしにみんな影響を受けてしまうんだ、って思われた。

「国敗れて山河あり」っていうように、国がどうなろうと庶民は山河とともに生きて行けばいいんだ、と思っていたけど、放射性物質が撒き散らされれば山河すらもダメになってしまうと3・11で思い知らされた。

椎名 農業においては放射性物質の問題でそれまでの農業の問題なんか、かき消えてしまったね。14年前に「グローバリズム」という言葉が出てきた頃はもっと

と前向きな意味で「世界がひとつになれば国家つてのは無くてもいいんだ」って文脈上の話だった。社会の駆動エンジンは企業で、多国籍企業が国家の枠を超えて世界を前進させて行くんだ、株式会社が最も効率的なシステムだから、国家も民間会社のようになればいい、って。グローバリズムのそういう考え方が多くの人に新鮮に映った。

井上 教育機関も企業にとって有用な「グローバル人材」を育成しようとした。英語の交渉能力があつて残業なんか気にしないで世界中を飛び回って会社の命令をこなしていく人材。大学自体も独立行政法人化した。その結果、日本の**学術的発信力は先進国で最下位⑦**になった。

見田 まだ続くでしょう、この状況は。グローバリズムと、自己責任とか新自由主義とか「官から民へ」とか、セットで一緒に現れたものだった。

個人主義が進んだって世間でいつたりするけど「共同体がただ『個』に分解した」つてのを、個人主義っていつていいのかな？ほとんどの日本人は確固とした「個人」をもっているわけじゃないでしよう？周りをみたって、自分で決めて、そのことに対して

しつかり自分だけでその責任をとっている独立した「個人」なんかないでしょ。

アマゾンのCEOの**ベゾス⑧**とか、国家を超えるような資産を持つているよね。安倍・竹中は**トリクルダウン⑨**とかいつていたけど、富裕層の資産は残りの人々にしたり落ちてこない。麻生財務大臣は「アベノミクスで全ての経済指標は上昇している」といつているけど、实体经济と金融経済との乖離はいつからはじまったんだろう。ニュースで株価を伝えるのは当たり前になったでしょう。日経平均やTOPIXに意味はない、实体经济とは株価のように毎日何パーセントも上下するものではないって経済学者の**水野和夫さん⑩**がいつていたけど。世界は人間の幸福とは関係なく、ただグローバルになっただけなんだ。

椎名 資本主義というのは、人間を幸福にしないも何も「思想」を入れていないんだよね。資本主義自体にイデオロギーがあるわけじゃない。

見田 資本主義によって百年前と比べて世界的に見ても貧困率や死亡率は悪くなつていない。資本主義の中に生きる人の行動基準はよくわからなくなっているけど。

椎名 資本主義において生きるのに必要なのは嗅覚でしょ。そういう奴が伸びていく。あと、資本主義は蒐集（コレクション）。

見田 何にお金を使うかというのは、なんとなく思想性を帯びると思つていたけど、そうか嗅覚ですかー貯める人はお金がにおうんだね。

世の人は **我を何ともいわば言え**

我が為す事は **我のみぞ知る**

坂本龍馬

笑わば笑え。

「有機農業一筋、四〇年」

白州郷牧場



6月2日

6月7日

白州だより

責任者、ジェフリー・プレストン・ベゾス。フォーブスの長者番付による世界最大の資産家。2018年7月時点で1500億ドル（約16兆円）の資産を有する。

⑧ベゾス―米アマゾンの最高経営責任者、ジェフリー・プレストン・ベゾス。フォーブスの長者番付による世界最大の資産家。2018年7月時点で1500億ドル（約16兆円）の資産を有する。

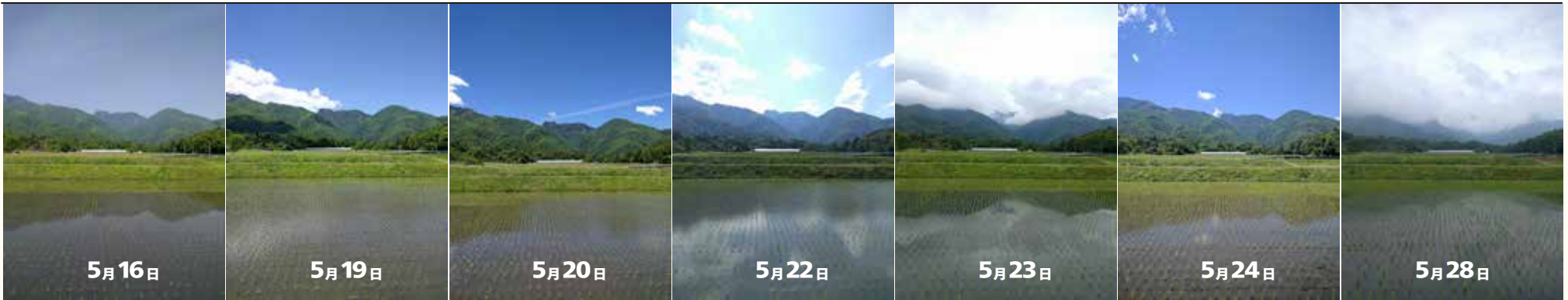
⑨トリクルダウン―富が「したたり落ちる」という意味の英語からきた経済用語。「富裕層の富の拡大が貧困改善につながる」ということは立証されていないため「トリクルダウン仮説」とも呼ばれる。

⑩水野和夫―経済学者。著書「資本主義の終焉と歴史の危機」などで、経済成長の時代はやがて終わり、ゼロ成長社会が到来する可能性について論じた。

⑪「呪いの時代」―内田樹の著書。一部を抜粋すると、「現代日本社会は『呪い』の言葉が溢れ返っています。さまざまなメディアで、

⑥グローバリズム―地球を二つの共同体として、世界の一体化（グローバリゼーション）を進める思想。例えば、多国籍企業が国境を越えて地球規模で経済活動を展開したり、自由貿易や市場主義経済を全地球的に拡大させる、など。

⑦学術的発信力の低下―科学技術白書が「日本の学術的国際地位の趨勢の低下」を認め、「人口当たり論文数」は世界37位（先進国中最低）。「博士課程への進学者」、「海外派遣研究者数」、「注目度の高い研究分野への参画度合い」なども低下。高等教育機関への公的研究資金投入と論文数生産は相関するが、日本はこの対GDP公的支出ランキングでここ数年、先進国最下位。



話はずれるけど、内田樹さんの「呪いの時代①」という本を読んだの。現代は呪いの言葉に満ちているって。こういう話をしている、なんだか暗い話しかできない（笑）。呪いの言葉しか出てこない。まあ、その本に書いてある文章も、祝福や寿喜というより、けっこう呪いが満ちている内容なんだけど。

井上 グローバル化の象徴的な政策である**TPP⑫**ですが、これを最初に言い出したのは菅直人が総理だった頃の民主党政権ですよ。『平成の開国』だとかいつて。当時は、民主党も自民党も日本中が同じように「世界がひとつに繋がるのは善いことなんだ」と思い込んでいました。今年5月にTPP11が衆議院で承認されたニュースが流れましたけど、今でもこれが正しいことだと額面通りに思っている人たちがいっぱいいるわけです。たとえば日本の農業を世界と勝負できる『強い農業』にしていきましょう、国際競争力のある生産物をつくれる農家が優秀な農家で、TPPに反対する農家は保護主義による優遇を求める、やる気のない間違った農家です、と。

見田 「フードマイレージ⑬」とか「地産地消」なんて言葉も最近ほとんどみかけないよね。どっこい生きてるぞ、ってことを見せていかないと。

農業にどんな異業種の企業が参入して失敗したりもしてるけど、どうなるんだろう。

椎名 企業の農業参入は、農業とは違うところで経営的にペイするようにしないと農業だけではやっていけないだろうね。

今までの国による農家の補助金漬け問題については批判がある。農家がやる気も何もなくなっちゃうのが問題。米の減反とか、農家が「何もしない」ことに対して税金が払われるわけだから、自分の頭で考えて農業をしなければならぬ。

見田 昔、話していたじゃない。「農」は業に、教育に、食に、環境に、という広がりを持つ、って。そういう能動的な動きが少しずつあるという人もいるけれど、まとまりとしては見えてこない。

世の中が変わり過ぎて、おまけに歳を取っちゃって、もうわからない。どこにどんな日本を求めているのか。

でも、何だかんだ、40年近く白州でやっていて、「キララの学校」の活動などを含めそれなりに居る若い人たちを、どうにか応援していく仕方を見つけないもんです。

井上 今回のサッカーワールドカップのテレビ番組テーマ曲を**Radwimps⑭**というバンドが作りました。そのカップリングの曲は「HINOMARU」というタイトルなんですけど、歌詞が問題になりました。使われている単語が軍国主義を連想させると、いわゆるリベラルの人たちから叩かれて抗議運動も起こりました。

見田 愛国心とリベラルは矛盾しないと思うけど。

井上 そう。リベラル側も古いんです。歌詞の単語にいちいち目くじら立てるんじゃないかって音楽としてつまらない、ナシヨナ

笑わば笑え。

「平飼い卵かけご飯で10年」

おっぱに亭(ひょうにん)

北杜市白州町横手の食堂「おっぱに亭(ひょうにん)」は

2008年八月十六日に開店しました！

リズムを刺激する「戦意高揚音楽」なんてダサイ、といえбайいのに。曲の盛り上げ方もありきたりだしメロディも凡庸。野田洋次郎よ、お前の愛国心とはこんなものか、もっと命を削って曲を書け、と。抗議の人たちはちゃんと音楽として聴いていないんですよ。

見田 もうただのプロパガンダ合戦になる。

井上 ネットウヨ⑮といわれるような人もその反対のリベラルとかサヨク寄りの人も、巷に散らばっている「日本」的な記号を、自分に都合よくつなぎ合わせて、それを「これこそ日本だ。伝統だ」と思い込もうとしているように見えます。その選択した日本的記号が人によって、日の丸や御国御魂になるか、憲法9条になるかは違っても、やっつること自体は同じで、どちらもやっぱ古い。

見田 橋本治さん⑯が書いていたけど、日本では母親が子供に「自立の仕方」を教えない、って。自立するっていうのはそんなに簡単なことでない、人間が自立するにはそのための学習期間や、支援体制とかプロセスが必要で、そういうことを親が考えないで、子供に、自立、自立といってきた。子供に「自立しなさい」といえばそれで自立すると思ってる。そうだね！って私も思う。

椎名 面白い話がないね。

見田 というか、年寄りに面白い話をしろといつても無理よ（笑）。でもね、例えば、なんでフィリピンの人たちがあんな明るいんだろう。**カネシゲファーム⑰**だってまわりはプランテーション農業ばかりだし、フィリピンの工業化もすごいし、あの人たちは何をやるべに希望を消さないで生きていけるんだろう。一種の諦念なのか。

椎名 フィリピン社会がまだ元気で若いからだよ。確か人口の3割くらいが15歳未満でしょ。平均年齢は23歳くらい。

まだ世界の歴史に対してフィリピンって発言していないもの。これからなんじゃない、フィリピンもインドネシアも。

見田 途上国も経済発展してみたいなとそれがどういふものかわからないから。一度手にして、そして経済発展と同時にいろいろ失ってみてはじめて気が付く。失ったものがどんなに価値のあるものだったか、が。

椎名 是枝裕和監督⑱の映画「万引き家族」を観たけど、もう「貧困」ってものがわからなくなっているなって思ったよ。

見田 そうね。昔の日本は海には魚がいっぱいたし、山には山菜などの恵みがあった。田んぼにはタニシやドジョウや小魚がいてご飯のおかずになった。自然が貧乏人の味方だった。いまはそういう自給生活はもうできない。そういう自然が無い。食べ物でもなんでもお金で買わないと生きていけなくなったでしょ。しかもジャンクフードが多い。

井上 映画「万引き家族」の家庭の生計の立て方も現代なりの「自給生活」ですよ。

見田 っていうことを言っているのかわからないけど、世界はゆるやかに人間を殺していく方向に行くんじゃないかな。世界人口が70億人って決定的に多すぎるもの。全世界が現在のアメリカのようなエネルギー消費はできないのはわかりきった話でしょう。

だからこれからは宇宙開発だ、とかいつているけど、宇宙に行けるっていったって限られた人だよ。ね。ああ、また暗い話になった（笑）。呪いの言葉を吐いたっていいかも、吐き散らかしてやる（笑）。

井上 さて、今年の8月で白州郷牧場の食堂「おっぱに亭(ひょうにん)」白州横手店は開店10周年を迎えます。現在の外食産業事情ですけど、たとえばラーメン屋なんかは開店してから二年で四割がつぶれ、三年以内に七割が閉店するといわれています。五年持てば、老舗まではいかないけどもう中堅どころになるらしいです。だから卵かけご飯屋として10年営業





5月4日

攻撃的な言葉が節度なく吐き散らされ、現実には、ネット掲示板に「死ぬ」と書かれ、ショックを受けて自殺する人たちがいる。これを『呪殺』と呼ぶにどう呼べばいいのでしょうか。」

⑫ TPPー環太平洋パートナーシップ協定。環太平洋地域の国々による経済の自由化を目的とした多角的経済連携協定。アメリカの離脱後、11ヶ国（TPP11）による協議が行われ、今年、署名式が行われた。

⑬ フードマイレージー「食料の（food）輸送距離（mileage）」という意味の指標。食糧の輸送に伴い排出される二酸化炭素が、地球環境に与える負荷に着目した指標で、食品の生産地と消費地が近ければフード・マイレージは小さくなり、海外など遠くから食料を運ぶと大きくなる。

⑭ Radwimpsー日本のロックバンド。ほぼすべての楽曲の作詞作曲をボーカル・ギターの野田洋次郎が担当。

⑮ ネットウーインターネットと右翼を合わせた造語。ネットの掲示板やブログなどで右翼的な言動を展開する人々のこと。

⑯ 橋本治ー小説家、評論家、随筆家。東京大学在学中に制作した駒場祭ポスターの「とめてくれるなおつかさん 背中銀杏が泣いている 男東大どこへ行く」というコピーで注目された。

⑰ カネシゲファームーフィリピン・ネグロス島にある、養豚と有機野菜生産の循環型農場。農法や技術に関する学びや経験を共有し、新しい担い手を育てる農学校として、二〇〇九年に再生した。豚舎から出る糞尿を利用したバイオガスプラントなどで農場内のエネルギー自給に向けても取り組んでいる。

⑱ 是枝裕和ー映画監督、脚本家、ドキュメンタリーディレクター、映画プロデューサー。脚本・監督した映画『万引き家族』が今年カンヌ国際映画祭で最高賞となるパルム・ドールを受賞した。

椎名 特にないね。

見田 そうねえ、10年持ったのはきつとあたしのおかげね（笑）

井上 ほんと、ヒドい人たちがすね（笑）

白州

フィリピン・カネシゲファームから、白州郷牧場を訪問



ジョネル・ベントウラさん



チータ・タカタさん



フィリピン・ネグロス島の有機農場カネシゲファームのスタッフ、チータ・タカタさんと

ジョネル・ベントウラさんが、4月21日に白州郷牧場を訪問し、鶏舎、有機野菜畑を見学、農作業の体験をしました。

フィリピンのカネシゲファームは、白州郷牧場をモデルにした、BMW技術を軸にした有畜複合型循環式農業で農産物を生産しています。二人は朝、番で牧場を訪問。有機野菜の収穫作業からパッキング作業を体験し、平飼いの鶏舎では採卵などの作業研修をおこないました。

昼食は直営食堂の「おっぱに亭」で卵かけご飯に挑戦しましたが、普段食べられない料理のため一口だけを食べ、あとは野菜たっぷりのカレーを食べました。



4月25日



4月21日

白州郷牧場に、子牛が産まれました！



名前は「ムササギ」です。

5月14日、子牛が産まれました。2016年1月に牧場で生まれた牝牛「きよこ」の初出産でした。

これまで牧場の牛は人間の手を借りずに自分の力で牛を産んでいました。朝牛舎に行くと、「子牛がうまれていた！」ということになっていたのでした。しかしながら今回は獣医さんから「初産なので心配ですから、気を配ってあげてください。他の牛から離して2頭で静かに産める場所をつくってあげてください。」と指導を受けていました。牛の世話を担当している中田さんが産室スペースをつくってほかの牝牛2頭

から離しても、夜になるとせまい柵をむりくりくぐり、他の2頭といっしょに寝に行ってしまうのでした。

出産日予定から数日過ぎ、今日生まれました。朝牛舎に行くと、子牛が産まれていました。他の牛から離れて産室スペースで産んでいました。生まれてすぐの子牛は、いつもよりなんとなく細い感じがして、立ち上がるか、初乳を飲むのか、母牛も子牛の面倒を見るか心配しましたが、初日からちゃんと乳をのむことができ、元気に育っています。

高草木里香



4月16日

白州直送野菜フルセット

平飼い卵 10個 + 旬のお野菜と加工品(8~10品)

本体価格: 3,500円 (税抜・送料+クール料込)

絶賛お届中!

白州直送野菜ミニセット

平飼い卵 6個 + 旬のお野菜と加工品(4~5品)

本体価格: 2,400円 (税抜・送料+クール料込)

ご贈答にもどうぞ!

白州直送野菜フルセット例(平飼い玉子、平飼い鶏ミンチ、サニーレタス、サンチュ、菜花、カボチャ、タマネギ、ジャガイモ、ハツサク、大根、ネギ、ショウガ、ミニトマト)



白州直送野菜フルセット見本



きゅうり

7月の「白州直送野菜セット」の予定

白州郷牧場の平飼い卵、野菜、加工品などを詰め合わせた「白州直送野菜セット」。箱にお詰めして宅配便(クール便)でお送りしています。

「白州森と水の里センター」は、白州郷牧場の農産物や加工品をお届けする白州郷牧場グループの販売部門です。

7月の予定品目

皆さん、こんにちは。春から続いていた野菜が移り変わり、夏の果菜がはじまっています。夏の果菜はきゅうり、ズッキーニなどから始まります。なす、ピーマンなどは例年7月下旬くらいからのお届けになります。

盛夏に向け、いろいろな夏野菜が登場していきます! お楽しみに!

平飼い卵(6個または10個)

「白州森と水の里センター」 高草木里香



白州郷牧場は2007年からJAS有機認証を取得しているオーガニック農場です。



ししとう



インゲン



ズッキーニ



大葉



米なす

白州だより 新創刊5号

2018年7月20日発行

発行: 白州郷牧場

山梨県北杜市白州町横手 2259-1

TEL: 0551-35-4520 FAX: 0551-35-0132

メール: info@hakusyu.jp

ホームページ:

hakusyu.jp



ご注文は、白州郷牧場オンラインショップか、お電話 0551-35-4445 (火曜定休) で承ります。